



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：市川修次 副会長：唐澤 稔 幹事：宮下 健 公共イメージ向上委員長：加藤 篤



世界に希望を生み出そう

2023-2024 国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

2023-2024 RI会長
 ゴードン R.
 マッキナリー
 <スコットランド、
 ウェストロージアン>



第1680回例会 令和5年11月28日(火)

■ 点 鐘

12:30

■ ソング

真実を求めて 鈴木一比古ソングリーダー



■ 会長談話

市川修次会長



今日は3週間ぶりの例会という事になりました。

今月11日12日には地区大会が行われました。11日はホテルブエナビスタにおいて会長幹事会が行われ、大会決議案等の承認や指導者セミナーが行われました。その後、2023-24年度国際ロータリー会長代理のリン・フウアミンご夫妻をお迎えしての本会議と歓迎晩餐会が開催されました。本会議では先ほど報告させて頂きました「ロータリー賞」の表彰を頂きました。今回は前年度平澤前会長の時の表彰で、今年度の状況を考えますと来年も受賞出来るのではないかと考えています。リン・フウアミン会長代理は折井ガバナーと大学が同じという事もあり大学時代の思い出などの挨拶がありました。

晩餐会は丸テーブルで行われましたが、私の居た席と隣の席で二年連続で晩餐会に出た人が3人居まして、普通2年連続という事は無いと思うのですが、一人の人は副幹事・幹事・会長となっていて幹事と会長エレクトを兼ねているという事で理解できるのですが、一人の人は会長エレクトが喧嘩をして辞めてしまい責任をとって二年連続会長を務めているという人と、もう一人の人は会長の成り手がなくて止むを得ず二年務めているという人で、又、宮下幹事の席では隣の人がロータリーの事で電話にて会員とやりあって辞めてやるなどの話があって宮下幹事はその人をなだめていたなど、そう考えると伊那中央は平和だなあと改めて思った晩餐会でした。

翌12日はキッセイ文化ホールに会場を移して本会議、青少年アワー、コロナウィルスの専門家会議の副座長を務めた尾身先生による講演がありました。当日は松本マラソンと重なった為に時間が短縮され、更にそれぞれの時間がオーバーしていく為に昼食時間は短く、昼食直後に行われたスズキメソッドの子供達のバイオリン演奏は始まる時間に観客は殆ど居ないというような状況でした。尾身先生の講演はWHOの西太平洋地域でポリオの根絶についての活動内容等の話でしたが、最後にコロナは致死率は下がっているものの感染者が増えているので結果として亡くなる人は増加しているのが油断しないよう、又コロナのような新しい感染症は今後も出てくる等の話がありました。帰って来まして伊那RCの皆さんと割烹いづみで慰労会が開催され伊那中央の出席者は9名、伊那RCは3名という事でした。

話は変わりますが、先週24日に入会を予定している3名の方への説明会を開催させて頂きました。次週12月5日に入会式を行う予定ですが3名入会して頂きますと会員数48名、3名のうち2名が女性ですので女性会員は5名という事になります。8月に地区の金児会員増強委員長に来て卓話を行って頂きましたがその効果が表れているのか、地区大会の時も始まる前に金児委員長が直々に私の所に来て頂きまして挨拶をさせて頂いたのですが、我クラブというより池上会員増強委員長の動きに注目しているようでした。

■ 地区大会表彰の伝達式

在籍表彰 ・20年 小川秋實会員
・30年 中川博夫会員

クラブ表彰 ・2022-2023年度「ロータリー賞」
・End Polio Now:「歴史をつくるカウントダウン」
キャンペーンの感謝状



■ ニコニコボックス

- ◆市川修次 本日の例会は、宮下幹事・松田 SAA 共に欠席の為、小椋副幹事・伊藤副 SAA のお二人と行います。宜しくお願い致します。
- ◆小椋文成 宮下幹事 欠席の為、不慣れですが幹事役を務めます。よろしくお祈りします。
- ◆馬場秀則 股関節の手術、成功しました。多少ゴルフは出来るかと思っておりますので、よろしく。

■ 委員会報告

・11月26日(日) 地区職業奉仕セミナーの報告 太田明良職業・社会奉仕委員長



11月26日に実施された職業奉仕セミナーの報告をさせていただきます。
同セミナーはホテルメトロポリタン長野で開催されましたが、私は zoom にて参加いたしました。

内容としては、まずは東京大学名誉教授の神野直彦先生が「希望と楽観主義を携えて 歴史の峠を越える ー豊かさから幸福へー」との題名で講演なされました。

職業奉仕セミナーでなぜこのような内容の講義がなされたのか私自身は少しわかりませんでしたが、具体的内容としては、簡単にご紹介すると、現在は危機の時代であり、この危機を乗り越えるためには社会目標の大転換として、「所有欲求」から「存在欲求」へシフトする必要があるということ、この「存在欲求」を前提として長野県として「ウェル・ビーング戦略」をもって臨むべきとの話でした。

その後、この講義を前提としてパネルディスカッションが行われました。

私自身は最後まで職業奉仕とこれらのテーマがどのように関連性があるのかちょっと理解できない部分がありましたが、ここで話された社会目標が「存在欲求」へとシフトしていかなければならないというような話には共感でき親和性を持っていましたので、私としては興味深く同セミナーに参加できました。

・11月16日(木) 第1回親睦活動・友好委員会の報告 橋爪麻人親睦活動・友好委員長

スナック喫茶ポッケにて出席者9名、12月19日の年末家族会について役割から全て検討いたしました。



ここでは余興についての報告をさせていただきます。

まず、ものまねでご来賓の皆様と和んでもらったら、次に留学生にも参加して頂いてのマジックになります。

ビンゴは時間の都合で今回は抽選会とさせていただきますが、参加者全員に賞品が渡るようになっていて、奥様方に喜んでもらう仕掛けも考えています。

サンタからのプレゼントは例年通りで、子供達へ長靴お菓子を用意します。

全ての方に楽しんでもらえるようにと知恵を出し合いました。多くのご参加をお待ちしております。

・11月19日(日) RLIパート2の報告 熊谷健会員

11月19日(日曜日)、2023-2024年度 RLI パートIIが、塩尻市市民交流センターで開催されましたので、受講して参りました。



パート2では、「1. 戦略計画とクラブの分析」「2. 会員を勧誘する。」「3. チーム作りとクラブコミュニケーション」「4. 米山記念奨学事業」「5. ロータリー財団II 目標とする奉仕」「6. 強いクラブを創る」の6つの研修項目につき、1研修50分の時間割で、朝9時30分から夕方4時30分まで、みっちり勉強してきました。

2回目の研修ということで、受講者が1回目よりも減少してきた印象である。私たちのグループも参加予定者7名のところ、実際には5名であり、他のグループも受講予定者が来ていないところがあったそうです。

一方、佐久ロータリークラブは3名が参加しているそうで、クラブ毎の温度差を感じました。ロータリーを知るためには良い研修だと思し、他のクラブの実情を知る機会にもなるので、我がクラブも予算が許すならば1名とは言わず2名3名の参加をしてもいいと思います。

色々な場面で、クラブの実情や事業を話す機会があるのですが、一つのセクションの中で我がクラブの信大留学生支援事業について話したところ、非常に関心を持たれたことを報告しておきます。

・11月26日(日)伊那市カレー大作戦の報告 澁谷恵二会員



11月26日に海老屋さんにて伊那市カレー大作戦が行われました。

伊那中央ロータリークラブからは7名の方の参加をいただきました。15時に集合し、15時半から準備を始め16時からカレーを配り始めました。約20分くらいで100食を配り終え大成功のうちに終了する事ができました。

ご協力を頂きました海老屋さん、参加いただきました会員の皆さんありがとうございました。次回のご協力もよろしくお願いいたします。

■ 幹事報告 小椋文成副幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 出席報告 会員数45名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者20名 事前メイク2名 出席率56.41% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム 「ロータリー財団委員会」 宮澤友浩ロータリー財団委員長



ロータリー財団には100年を超える歴史があります。

財団の補助金活動はロータリアンによる寄付金を、管理委員会により3年の運用投資を行い、活動審査の上支払われます。補助金には、我々が行う地域活動に対しての地区補助金、国際的活動を行うグローバル補助金、世界の災害補助金、また他団体などとのパートナーシップの下、国際活動に資金提供を行う大規模プログラム補助金等に分けられます。半分以上は重点分野であるグローバル補助金です。

補助金の原資となる寄付金は世界のロータリアン・ロータリークラブが目標をもって毎年集められます。基本、伊那中央ロータリークラブには地区からの要請で一人150ドル×45人なので6750ドルの寄付目標が設定されています。会費から全員が一人50ドルを払っていますので、残りは4から5人が毎年寄付者の称号、ポールハリスフェローを得るため、1000ドルを寄付しています。

伊那中央ロータリークラブの地区補助金事業にはかつて、ソフトボールの振興事業や森作り植林事業、本年2023年度には古着でワクチンというポリオ撲滅運動を行ってきましたが、その活動一つ一つに申請・審査の上、地区補助金を頂いております。

米山奨学金等も含め、我々の寄付活動は目的・目標があって行われる運動なので、来年以降今後とも趣旨理解の上、皆様のご協力をお願いいたします。



■ 点 鐘 13:30

次回例会

12月5日(火) 点鐘/12:30 場所/海老屋料理店
・新会員入会式
・年次総会(次期役員理事発表・会計中間報告)